

文政末六月に月の月成の上列い入るに都めて酒の月列
若入許小を年いには六と中の月かて六月の節期日之
石山城おとてのるこ

水の事能後日方粒い浪花流川の氷粒い因所案并
の水粒粒い浪花系原きの書十奉

風の目方の事い近年流りの風炮と目方い海風袋い
風流ふん掛れい列粒小いや

真似為い魚い事い

反達の内小物念を致人
密事と端小流うい致人

酒後に口さうぬ人

女房の烟と信いさ人

右の事小度く人いの世の事小通達いたいるいるい人

美似不可為事い

月光の影小扉を海事い

口小信きて人を食い事い

人の家乃鳴流少いるい事い

人の好悪をさうく流乃後小いとい事い

備りきお物込いぬ事い

英一襟時鳥の瀝い

